

佐野市景況レポート

令和元年10～12月期



佐野商工会議所
〒327-0027 佐野市大和町 2687-1
TEL 0283 (22) 5511 FAX 0283 (22) 5517
HP <http://www.sanocci.or.jp>
E-mail s-cci@sanocci.or.jp
調査協力：佐野市あそ商工会

《 概 況 》

台風19号被災と消費増税等より先行き業況感は大幅悪化

【令和元年10～12月期 実績】

全業種業況DI指数は▲22.6、前期（9月期）比▲0.3ポイントの悪化となりました。利益DI指数は▲34.3（前期比▲3.4）と、5年ぶりの最悪化値になりました。売上高DI指数▲24.5（前期比▲3.8）、設備稼働率DI指数▲14.3（前期比▲11.9）、販売経費DI指数15.5（前期比+16.8）と、売上DI指数の悪化と設備稼働DI指数の急落、販売経費DI指数の上昇が利益DI指数と業況DI指数の悪化に繋がったものと推測します。

【令和2年1～3月期 見通し】

全業種業況DI指数は▲27.3（前期比▲8.7）と、今後3ヶ月間の大幅な業況悪化を予想しています。売上高DI指数は▲24.2（前期比▲3.3）、仕入価格DI指数17.2（前期比▲0.9）、販売価格DI指数▲2.2（▲2.2）と、売上高と販売価格DI指数の低下による業況悪化を予想しています。

【事業所等の景況コメント他】

景況に関するコメントには、「台風19号被災」、「消費増税の影響」、「受注・売上減少」、が多く挙げられました。特に、台風19号に関するコメントが全コメント（49件）の4割を占めることから、市内企業の業況に与えた影響の大きさが窺えます。

『心機一転』（しんきいってん）これは、1000人に聞いた新年の抱負を表す四字熟語（日経新聞12.28）で1位の熟語です。あることをきっかけとして、すっかり気持ちを良い方向に変えること。気持ちを新たに前へ進めようではありませんか。

〔佐野市内における業況天気図〕

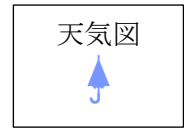
	実 績（令和元年10～12月期）		見通し（令和2年1～3月期）	
業 況	▲22.6		▲27.3	
売 上 高	▲24.5		▲24.2	
販 売 価 格	0.5		▲2.2	
仕 入 価 格	19.6		17.2	
労 働 力	▲27.5		—	—

* 天気図の説明
（数字はDI値）
・仕入価格、販売経費、在庫はDI値をマイナス評価

晴れ	薄日	曇り	小雨	雨
26以上	11～25	10～▲10	▲11～▲25	▲26以下

調査協力：OKコンサルティング 代表 岡野 清（中小企業診断士）

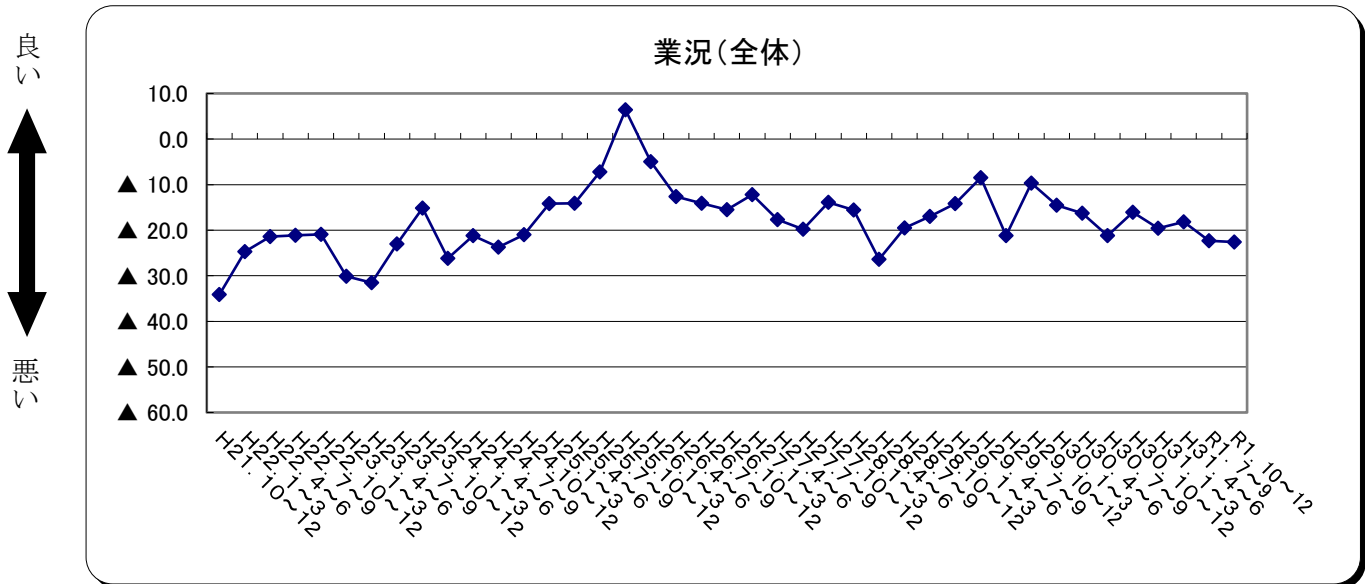
☆ 業況について（令和元年10～12月期実績）



全業種 DI 指数▲22.6、前期比▲0.3ポイント低下

業種別 DI 指数（上位5業種）

- ①建設業 7.7ポイント、②その他の製造業 0.0ポイント、③設備業▲8.6ポイント、④繊維品製造業▲17.6ポイント、⑤食品製造業▲22.0ポイント



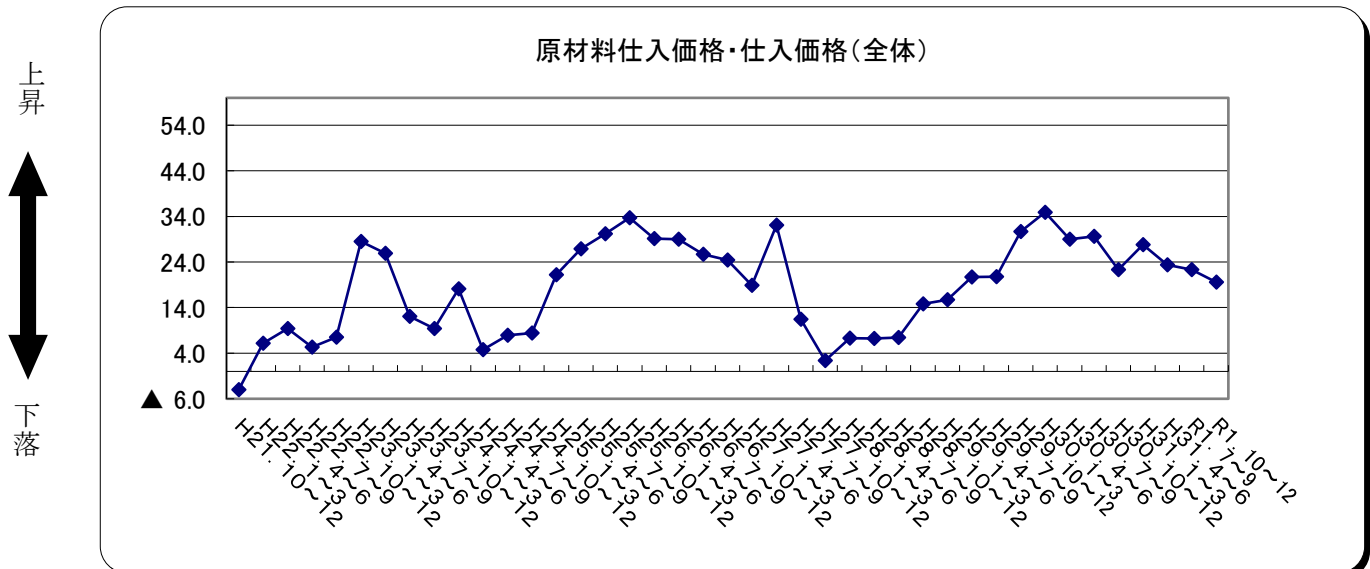
☆ 原材料仕入価格・仕入価格について（令和元年10～12月期実績）



全業種 DI 指数 19.6、前期比▲2.7ポイント低下

業種別 DI 指数（上位5業種）

- ①食品製造業、小売業 42.9ポイント、②その他の小売業(大型店含む) 36.8ポイント、③設備業 27.3ポイント、④サービス業 22.2ポイント、⑤卸売業 21.4ポイント



☆ 売上高について（令和元年10～12月期実績）

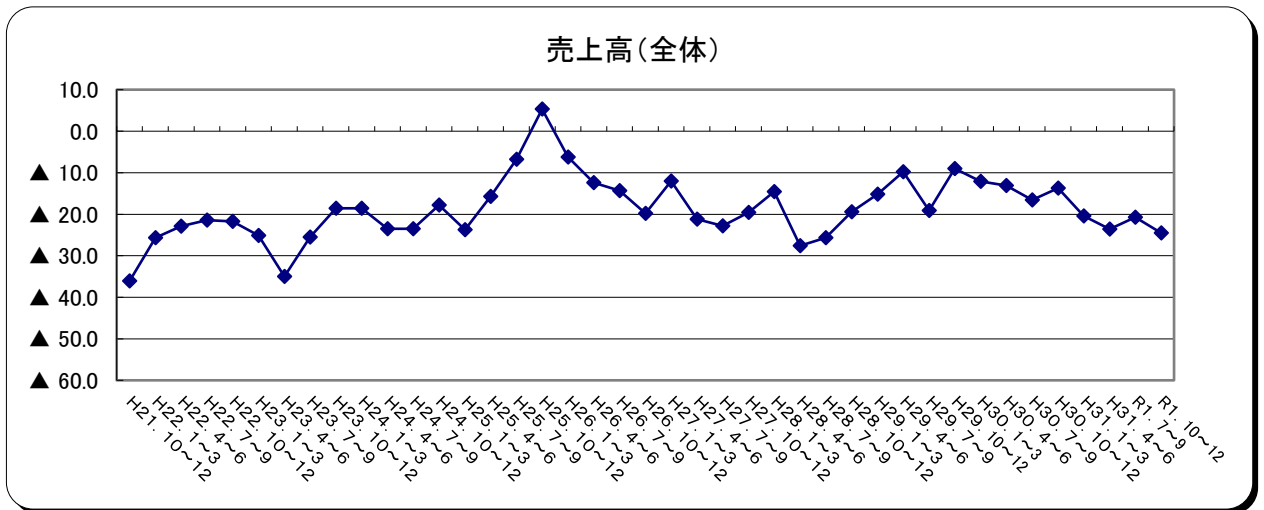


全業種DI指数▲24.5 前期比▲3.8ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ① その他の製造業 0.0ポイント、②繊維品製造業▲9.7ポイント、③化学・プラスチック製品製造業▲13.4ポイント、④その他の小売業▲17.0ポイント、⑤建設業▲17.6ポイント

増加
↑
減少
↓



☆ 受注販売価格・商品販売価格について（令和元年10～12月期実績）

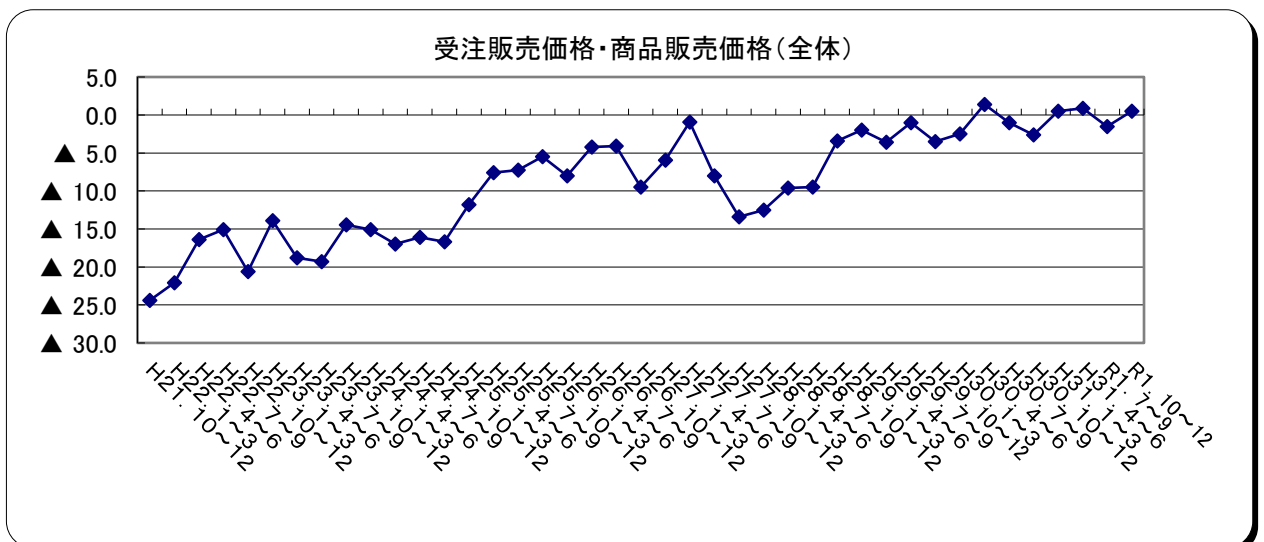


全業種DI指数 0.5、前期比 2.0ポイント上昇

業種別DI指数（上位5業種）

- ① その他の小売業(大型店含む) 14.8ポイント、②飲食店 14.3ポイント、③食品製造業 13.0ポイント、④建設業、化学・プラスチック製品製造業、その他の製造業、卸売業、小売業(飲・食料品) 0.0ポイント、⑤サービス業▲5.3ポイント

上昇
↑
下落
↓



☆ 製品（材料）在庫・商品在庫について（令和元年10～12月期実績）

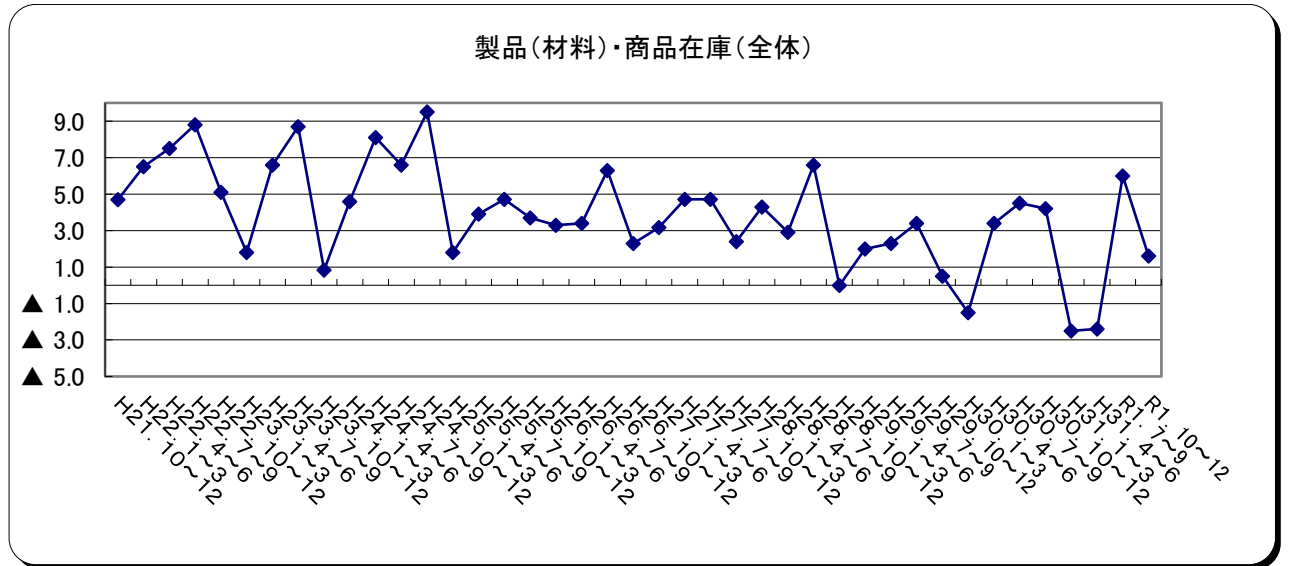


全業種 DI 指数 1.6、前期比▲4.4ポイント低下

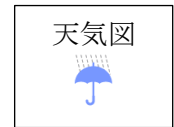
業種別 DI 指数（上位5業種）

- ① その他の製造業 33.3ポイント、②化学・プラスチック製品製造業 21.1ポイント、
- ③卸売業 10.3ポイント、④飲食店 4.5ポイント、⑤機械・金属製品製造業 4.2ポイント

過大
↑
↓
不足



☆ 利益状況について（令和元年10～12月期実績）

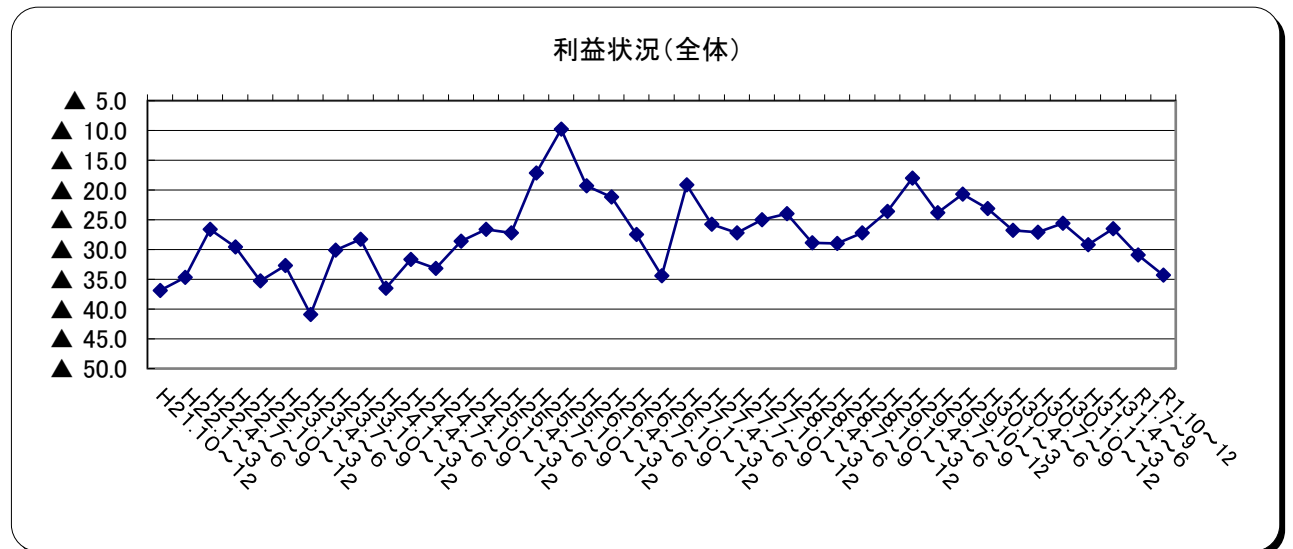


全業種 DI 指数▲34.3、前期比▲3.4ポイント低下

業種別 DI 指数（上位5業種）

- ①飲食店▲10.3ポイント、②その他の製造業▲15.8ポイント、③建設業▲16.7ポイント、
- ④設備業▲27.3ポイント、⑤サービス業▲28.3ポイント

増加
↑
↓
減少



☆ 資金繰りについて（令和元年10～12月期実績）

天気図



全業種 DI 指数▲21.1、前期比▲3.9ポイント低下

業種別 DI 指数（上位5業種）

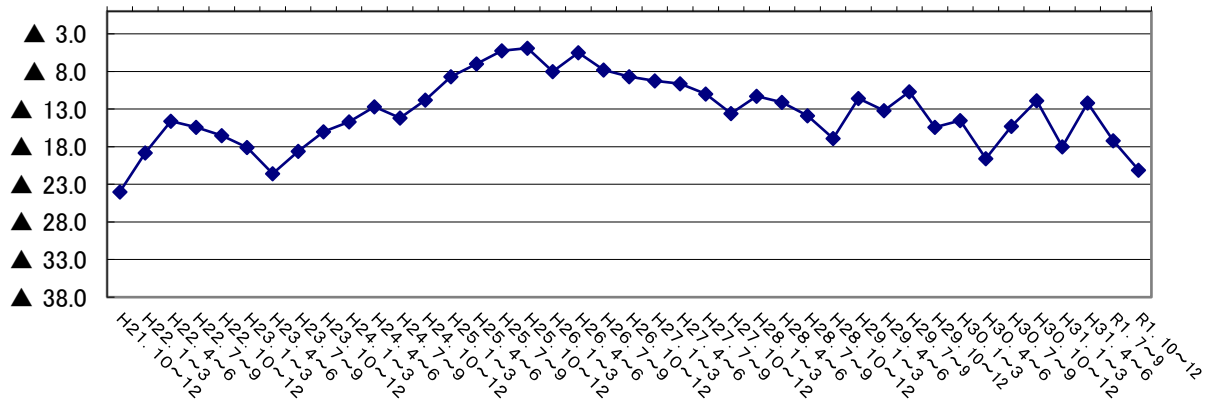
- ① 卸売業 20.0ポイント、②建設業 7.7ポイント、③その他の製造業 0.0ポイント、
- ④化学・プラスチック製品製造業▲13.0ポイント、⑤機械・金属製品製造業▲17.6ポイント

楽



苦しい

資金繰り(全体)



☆ 労働力について（令和元年10～12月期実績）

天気図



全業種 DI 指数▲27.5、前期比▲1.0ポイント低下

業種別 DI 指数（上位5業種）

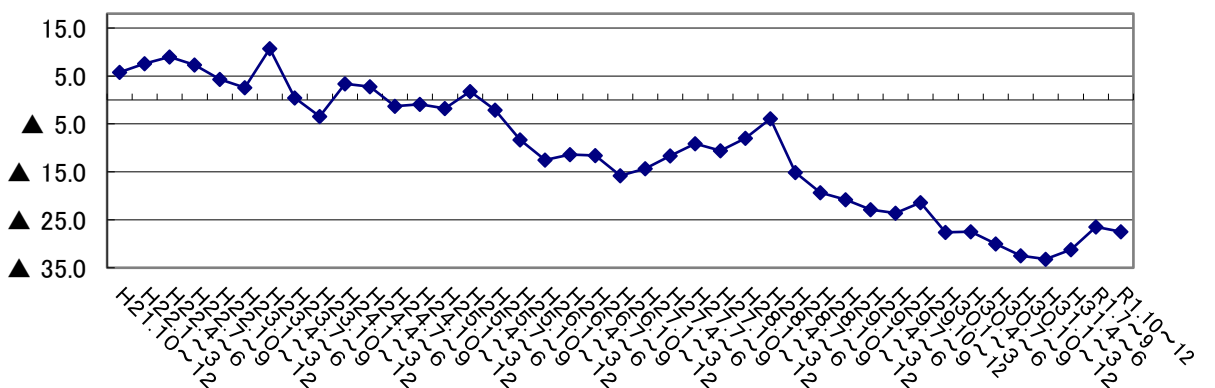
- ① 卸売業 0.0ポイント、②繊維品製造業、機械・金属製造業▲17.6ポイント、③飲食店▲23.8ポイント、④化学・プラスチック製品製造業▲25.7ポイント、⑤その他の小売業(大型店含む)▲26.3ポイント

過剰

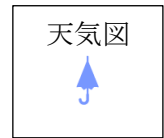


不足

労働力(全体)



☆ 設備稼働率について（令和元年10～12月期実績）
（建設・設備・製造業関係）

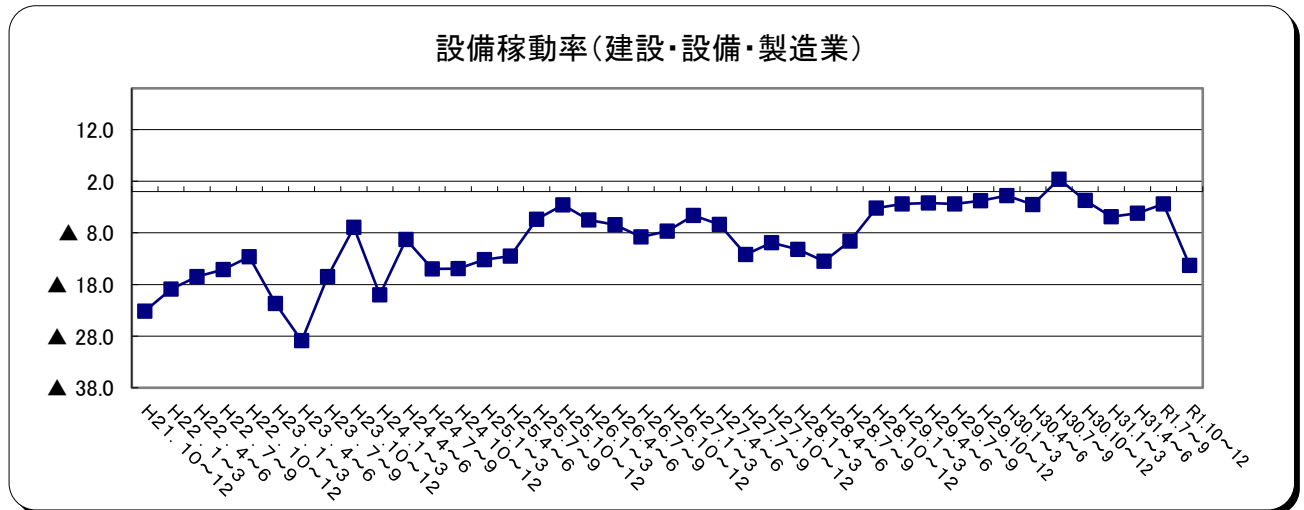


全業種 DI 指数 ▲14.3、前期比 ▲11.9 ポイント低下

業種別 DI 指数（上位5業種）

- ①食品製造業 7.3 ポイント、②その他の製造業 0.0 ポイント、③設備業 ▲8.6 ポイント、④建設業 ▲15.8 ポイント、⑤繊維品製造業 ▲18.8 ポイント

高い
↑
低い



☆ 販売経費について（令和元年10～12月期実績）
（商業・サービス業関係）

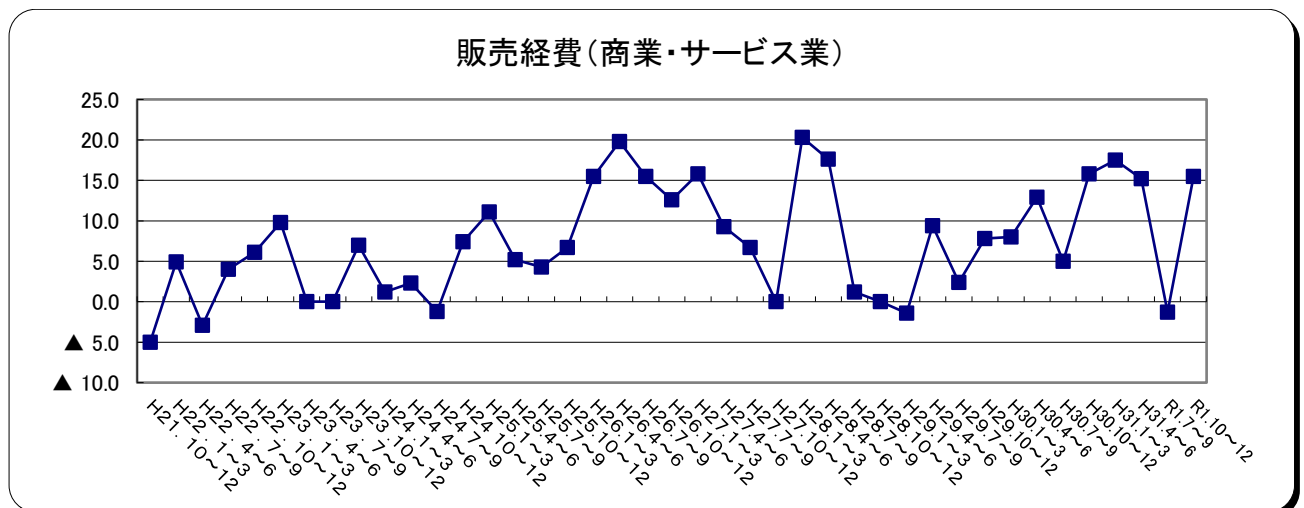


全業種 DI 指数 15.5、前期 16.8 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位5業種）

- ①小売業（飲・食料品）25.0 ポイント、②飲食店 23.8 ポイント、③卸売業 20.0 ポイント、④サービス業 11.1 ポイント、⑤その他の小売業（大型店含む）4.9 ポイント

増加
↑
減少



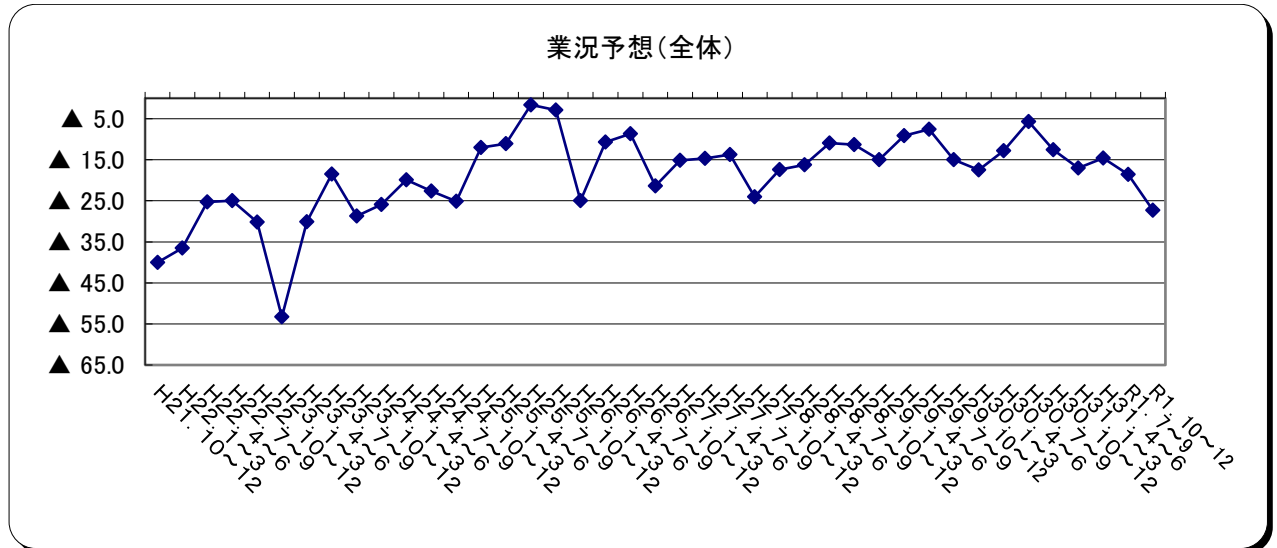
☆ 今後3ヶ月先（令和2年1~3月期の見通し）の業況について



全業種DI指数▲27.3、前期比▲8.7ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①建設業 8.1ポイント、②その他の製造業 0.0ポイント、③設備業▲18.8ポイント、
- ④食品製造業▲20.9ポイント、⑤サービス業▲21.4ポイント



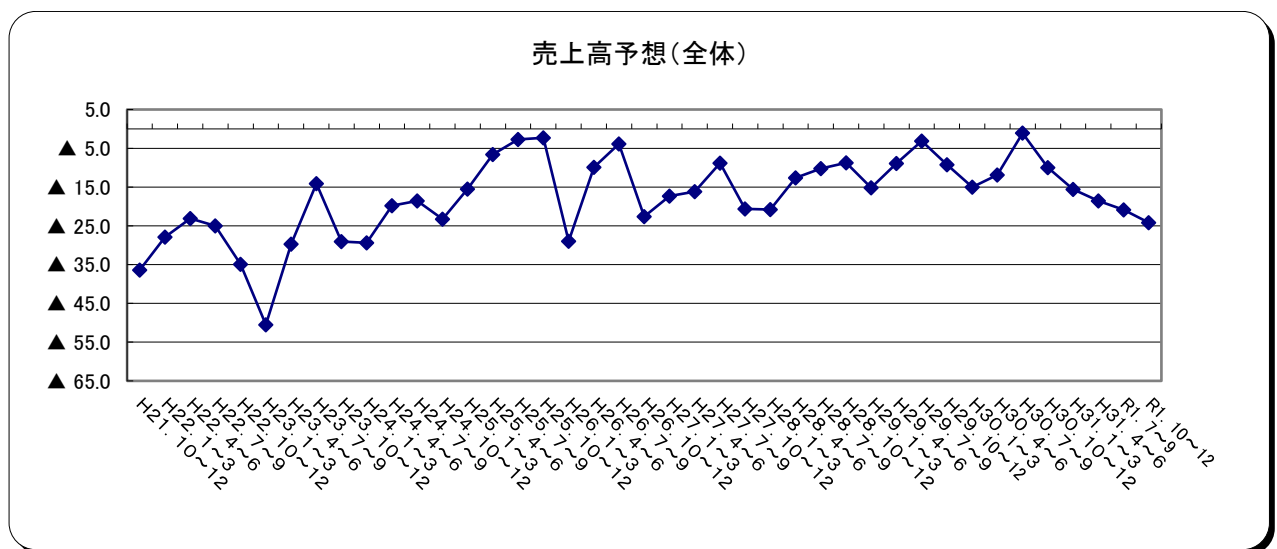
☆ 今後3ヶ月先（令和2年1~3月期の見通し）の売上高について



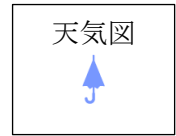
全業種DI指数▲24.2、前期比▲3.3ポイント低下

業種別DI指数（上位5業種）

- ①その他の製造業 33.3ポイント、②建設業 8.1ポイント、③その他の小売業(大型店含む)▲10.7ポイント、④サービス業▲16.4ポイント、⑤食品製造業▲22.0ポイント



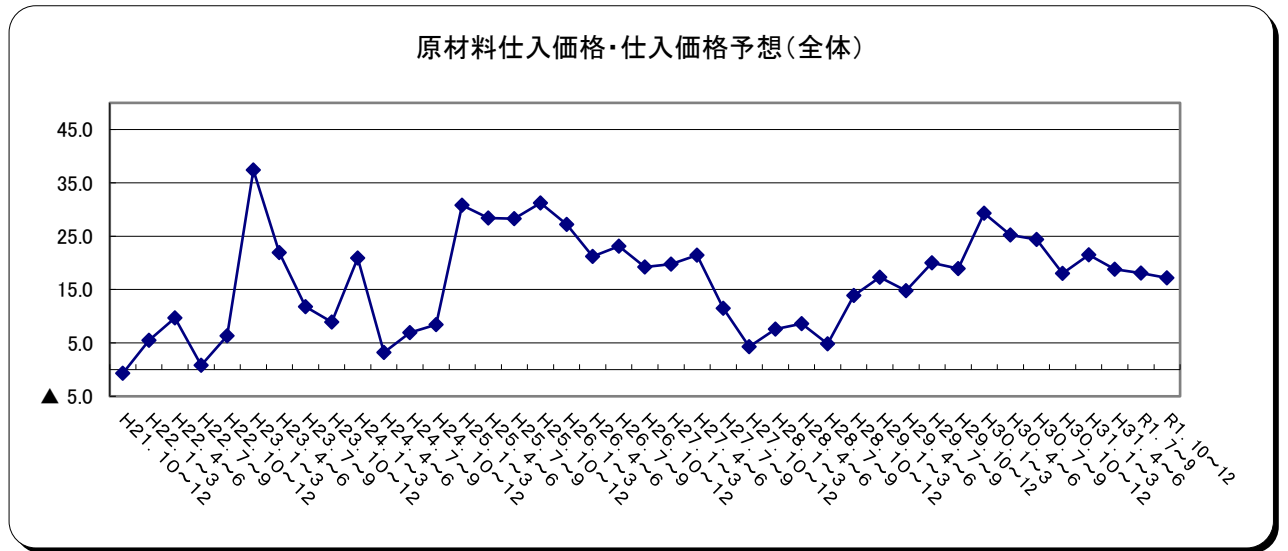
☆ 今後3ヶ月先（令和2年1~3月期の見通し）の原材料仕入価格・仕入価格について



全業種 DI 指数 17.2、前期比▲0.9ポイント低下

業種別 DI 指数（上位5業種）

- ①飲食店 45.8ポイント、②設備業 37.5ポイント、③繊維品製造業 27.3ポイント、④小売業（飲・食料品）25.0ポイント、⑤食品製造業 20.0ポイント



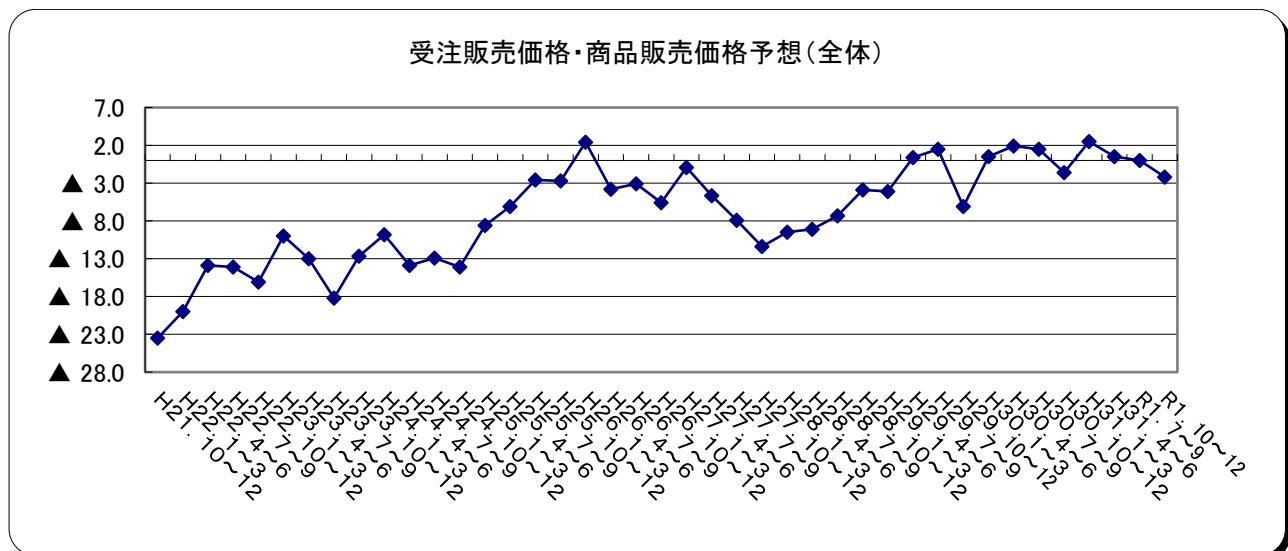
☆ 今後3ヶ月先（令和2年1~3月期の見通し）の受注販売価格・商品販売価格について



全業種 DI 指数▲2.2、前期比▲2.2ポイント低下

業種別 DI 指数（上位5業種）

- ①飲食店 13.8ポイント、②食品製造業 6.7ポイント、③その他の小売業（大型店含む）4.9ポイント、④建設業、設備業、その他の製造業、卸売業、小売業（飲・食料品）0.0ポイント、⑤サービス業▲5.3ポイント



☆ 市内各事業所からの景況に関するコメント ☆

※景況調査にご協力いただきました事業所のうち、「景気に対するコメント欄」にご記入いただいた内容を、そのまま掲載しております。

建設業

- ・人員不足により業務が著しく滞っている。

設備工事業

- ・災害関連の仕事で体は忙しく動いておりますが、金額にはなかなか反映できないです。

繊維品製造業

- ・休業していますので調査不要とおもいますが？
- ・年末の受注が例年に比べてかなり減少、年明けの受注がかなり心配である。

食品製造業

- ・消費税増の影響はあまり無かったと思われるが、11月は売上が厳しかった。
- ・働き方改革で時間は短くしなければならず、反面売上げは上げなければならず…非常に厳しい時代になったものです。最低賃金は上がる一方ですし…先が見えません。
- ・来年も人手不足と人件費上昇が変わらず続く見込みです。
- ・台風19号で当社も被災した。市議会議員、商工会議所、市役所それぞれの方から支援があり助けて頂きました。ただ、このような時に各々の人間性が出て私利私欲に走る人間も誰なのかはっきりした。今回の被災により倒産、清算する企業の話の聞くと幸運なことに再開できた我々は今以上に企業として努力をしようと思う所存です。一つ思うところは、倒産、解雇などにより職を失った人達はどうするのだろうか。市内企業人員不足のため人をわりあてる、紹介して頂くなど行政が動いてくれないだろうかと思うが、いかがでしょうか？

機械・金属製品製造業

- ・消費税が10%により影響が出て来ています。ポイント還元はむしろ無駄だと思います。
- ・アベノミクスを呪文の様に唱えながらも効果なし!!天災、人災明るいニュースが欲しいものです。来年は「平穏無事」で暮らしたいものです。
- ・オリンピック直前の建設需要の落ち込みから、弊社も売上高は減少傾向にあります。
- ・消費税upの影響が出て来そうで、売上の減少になってくるのではないかと不安がある。
- ・2020年は厳しい年になりそうです。
- ・昨年までは、過熱気味だったと思います。今年は調整の年。来年後半から上向き？ならいいな。
- ・1月は休みが多い為に売上は減少するでしょう。
- ・米中の貿易摩擦の影響が目立つようになってきた。(自動車その他機器)
- ・人件費、物価等上昇しているのに、何故コストダウンを求められるのか？

化学・プラスチック製品製造業

- ・ピークが過ぎて、やや受注が落ち込みぎみ。日、中、米の相互関係が設備投資の落ち込みとなって徐々に影響が出てきそう。
- ・来年4月以降の同一労働、同一賃金の施行がどういう影響が出るか不安である。
- ・今後に向けて、いつもなら受注が少しずつ増えていく傾向になるのですが、今回は今のところ受注があまり多く見込めない状況にあります。
- ・米中貿易摩擦により、受注減少が業績に現れている。
- ・今年はほぼ注文がありません。

その他製造業

- ・1～3月は需要期になる為、注文出荷は増えると思う。ただし来年はオリンピックが開催されるので、その後後半は景気が落ちるとの事だ。来年は前半期で数字を上げたい。

卸売業

- ・台風19号の影響が、どの程度出て来るのか？
- ・来期までには状況に合った体制に整えて冬の時代に備えます。じわじわとお客様の消費量が減ってきています。
- ・運賃アップにより利益減少傾向。

小売業（飲・食料品）

- ・通りの商店が減少続出で小売店がやっていけない状態になって来ました。店が無くてはお客様が来ないのはあたりまえです。何とかしなければ・・・。
- ・台風19号後景気、消費冷え込みつづく。
- ・台風19号での水害もあり、お金を使わないようです。安い物にしか手を出さない流れもあるのでは。
- ・台風19号の被災により10月～11月は売上が減少でした。

その他の小売業（大型店含む）

- ・水害後景気が悪い。新年に期待したい。
- ・台風19号の影響は(人的にも、売上のにも)大きなインパクトを残しました。復興ムードもありますので盛り上げていきたいと思えます。
- ・人通りがない。
- ・メーカー品切れが長期にわたり、お客様に商品が届かない。しかも長期品切れの商品が続き売り損である。毎月3万から5万の売り損、お客様から求められても商品の入荷がないため売れない→売り上げにならない苦しい状況である。(メーカーがわるい)くやしい、毎日イライラする。
- ・10月、11月の売上が悪く、特に11月は最悪の売上でした。

飲食店

- ・今年は厳しい一年でしたが、来年は良い年でありますように。
- ・間接被害で売上高及び粗利益が大幅減となりました。
- ・台風19号によるさまざまなイベントが中止となっておりますが、自粛だけでは経済が立ち行かなくなるので早く元に戻してほしい。
- ・台風19号の間接被害により売上が減少しました。何か補助金があるらしいので、商工会議所に聞きに行こうと思います。
- ・飲食店は、台風19号と消費税改正の影響をもろに受けるため大変です。
- ・台風19号及び消費税改正の影響により10月の売上は前年同月比20%以上減少しました。
- ・台風19号の影響のより夜の来店客数が大幅に減少しました。自粛しないでほしい。
- ・19号台風の被害の後、宴会のキャンセルが有り11月は経営が非常に苦しい状態で有りました。忘年会のご予約も減少しているように思われます。被害にあったご家族等の電気器具等の買い換え等の為サイフの紐がかたいようにおもわれます。
- ・台風19号及び消費税改正及び体調不良により今年度で廃業することになりました。
- ・年末年始売上増を見込める。
- ・消費税10%と台風19号が影響し売上が減少したのかもしれませんが。
- ・本当に景気を左右出来る政策があるのか疑問。

サービス業

- ・仕事の場所が県内に少なく、東京及び千葉が多いので交通費が多く掛かっている。
- ・台風19号による影響が11月初頃まで売上げが減少した。

佐野市景況調査 要項

- 1 調査時期 令和元年10月～12月
- 2 調査業種 佐野市内に本支店を有する建設業・製造業・商業・サービス業・飲食店など290社（内訳：佐野商工会議所地区（旧佐野市）200社、佐野市あそ商工会地区（旧田沼町・旧葛生町）90社）を対象として実施し、176社（回答率60.7%）から回答がありましたものを取りまとめたものです。

(1) 建設業

① 建設業	25社
② 設備工事業	21社

(2) 製造業

① 繊維品製造業	22社
② 食品製造業	18社
③ 機械・金属製品製造業	40社
④ 化学・プラスチック製品製造業	36社
⑤ その他の製造業	22社

(3) 商業・サービス業

① 卸売業	15社
② 小売業（飲・食料品）	23社
③ その他の小売業（大型店含む）	27社
④ 飲食店	19社
⑤ サービス業	22社

3 分析方法[景況動向指数（D I）による]

景況指数は、好況・不況の差を指数にしたものであり、基準指数が「0」で上限限度は、+100・-100となり、プラスは景況の好転、マイナスは景況の悪化をあらわしている。

D I 方式は、
$$\frac{3x - 3z}{3x + 4y + 3z} \times 100$$
により算出

x：「良い」「増加」「騰貴」「過多」等の回答企業数

y：「普通」「ほぼ同様」「適正」の回答企業数

z：「悪い」「減少」「下落」「不足」等の回答企業数

- 4 主 管 佐野商工会議所
- 5 調査協力 佐野市あそ商工会
- 6 お問合せ先 佐野商工会議所経営支援課 TEL（代表）0283-22-5511



佐野商工会議所